

9月 いくり組だより

令和8年8月31日 大野保育園
文責:町田 幸代

まだまだ夏の暑さが残っており、熱中症にも注意が必要な時期が続きますね。園でも水分補給をしっかりと行っていきたいと思います。また、10月に近づくにつれ、一日の寒暖差が大きくなるこの時期は、体調を崩しやすい時期です。毎日の体調の変化にご注意いただくとともに、早目の病院受診と休養をお願いします。

お知らせとお願い

- ・手口拭きを【9月 ゆきよ】(記入例)と記名をして持たせてください。
- ・土曜日も含め、欠席される場合は必ずバスキャッチに☐入力をお願い致します。前もって休みの予定が分かっている場合は日付を指定しての事前入力も出来ますので、ご活用下さい。また、9時15分を過ぎてしまった場合は当日の欠席入力が出来ませんので、園まで連絡をお願い致します。
- ・保育園は、子供たちにとって大人の仕事に行っている事と同じです。お仕事がお休みの日は、是非一緒に過ごして、親子の時間を設けて下さい！
- ・今月もプールを楽しんでいきたいと思います！検温表への記入を忘れずにお願い致します。
- ・土日にお熱が出たり、湿疹が出たりしていた場合は、お休み明けに改善していても、日中気を付けて保育する必要がありますので、必ず保育者へ伝え下さい。



防災に

ついて



7月28日に熊本地震が発生し、その後も何度も余震が起きている日が続いています。9月1日は防災の日です。避難バッグを用意しているご家庭が殆どかと思いますが、赤ちゃんの避難用品というと、大人と違う物が入ってきます。この機会に是非一度見直しをしてみてください。下記に内閣府から出ている『あかちゃんとママを守る防災ノート』のURLを記載しています。一部抜粋したものを便利の裏面に掲載していますので、是非ご活用下さい。

『赤ちゃんとママを守る防災ノート』

<https://doc.giftfor.life/giftfor-notice.pdf>



お月見

今年の十五夜(中秋の名月)は、9月25日(金)だそうです。お団子やお餅、ススキや里芋をお供えて、お月さまを眺めて見てはどうでしょうか。お子さんと一緒に伝統行事を楽しみながら、色はお話しをするのもいいですよ！



いくり組MEMO

最近、いくり組さんでは噛みついてしまう子が増えてきています。噛んでしまった場合も噛まれてしまった場合も、保護者の方はとっても気になってしまうと思います。しかし、0歳～1歳での噛みつきと言うのは、成長発達上で必要な事、又は仕方ない事だったりします。この時期の子が噛んでしまう理由として、①歯が生え始めていてかゆい、②口に入れてどういう物が確認をしている、③噛んだ際の相手の反応を楽しんでいる、④言葉で気持ちを表せず噛んでしまう、と言う事があげられます。1歳を過ぎた頃には少しずつ『叱られている』と言う事が分かるようになりますが、まだ感情や行動をコントロールする前頭前野などの脳の働きが未熟なため、噛まれた相手の気持ちを想像したり、「前に叱られたからやめよう」と自制したりすることは難しい年齢です。その後段々と自我が急速に発達する一方で、まだ言葉で十分に気持ちを表現できないため、噛みつきという形で感情を表すことがあります。もし噛みつきで困っているご家庭がありましたら、噛んでいいおもちゃを用意したり、噛んでしまった際に「〇〇がしたかったんだね」など、お子さんの気持ちを代弁してあげてください。抱っこやハグ等のスキンシップと一緒に体を使った遊びを楽しむ事もオススメです！

避難バッグを見直そう

避難中にはぐれてしまうことも想定し、1人1個用意することも大切です。



第1次避難バッグの基本は、「持てる・使える・助かる」

- 一番大切なものは命です。グッズが充実していると安心ですが、あくまで重量オーバーにならないように……。
- 非常グッズは必ず1度は使ってみて、すべて“使える”状態にしておきましょう。
- 最優先は、命を守るために必要な非常グッズ。次に必要なのは生活必需品です。1日の生活を振り返り、備えておきましょう。
- 避難バッグと合わせてヘルメットを備えておくとう安心です。



いったん落ち着いてから取りに戻る、第2次避難バッグ

- 一時帰宅の安全が確認できてから、持ち出す避難バッグです。備蓄の延長で備えておくこともオススメです。
- まずはじめに、持ち出し品リストを作り、発災時に必要度が高いものから優先順位を付けて、第1次避難バッグに備えます。入りきれなかったものを、第2次避難バッグに。



緊急時に命を守るグッズは、常時携帯用避難バッグに。

- 緊急時の必要度が高く、常時持ち歩けるものは、ポーチ等にまとめ、持ち歩くようにしましょう。

「バッグの中身一例」

ホイッスル、保温シート、簡易トイレ、ラジオ、懐中電灯、非常食（簡単に食べられるもの）、水、バースナルカード（P77）常用中の薬、ガゼのほか、妊娠週数や乳幼児の年齢によって必要なもの一式等

避難バッグを見直そう

リスト

ポイント

避難バッグの種類

母子健康手帳、健康保険証	常に携帯し、大切なページはクラウドにアップ。	1次	☐	2次	☐	携帯	☐
オムツ、お尻ふき	お尻ふきは、身体を拭く際にも役立ちます。	1次	☐	2次	☐	携帯	☐
授乳用ケープ、ミルクセツ	日ごろの授乳方法に合わせて準備しましょう。	1次	☐	2次	☐	携帯	☐
スプーン、紙コップ、キッチン用ラップ	コップで少しずつ飲ませる方法もあります。	1次	☐	2次	☐	携帯	☐
ガゼ	菌の汚れを落としたり、顔を拭いたり…乳児のお世話になにかと使えます。	1次	☐	2次	☐	携帯	☐
抱っこ紐	避難の際や、避難所で両手が使えるように、抱っこ紐が便利です。	1次	☐	2次	☐	携帯	☐
非常食、離乳食	母乳やミルクで代用したり、大人の食事を取り分けることもできます。市販の離乳食を備えておくとう安心です。	1次	☐	2次	☐	携帯	☐
ビタミン剤	災害時はビタミン類が不足し、口内炎になりやすいので、サプリメントを用意しておくとよいでしょう。	1次	☐	2次	☐	携帯	☐
着替え、靴、防寒具	抱っこして避難する際にも、歩けるようになった子どもには靴をはかせておくとう良いでしょう。	1次	☐	2次	☐	携帯	☐
生理用品、ビデ	使い慣れた生理ナプキンや、生理用ショーツはあるとう便利です。	1次	☐	2次	☐	携帯	☐
マスク	避難所内では、感染予防としてマスクを着用しましょう。	1次	☐	2次	☐	携帯	☐
おもちゃ	使い慣れたおもちゃがあることで、心のケアにもつながります。	1次	☐	2次	☐	携帯	☐